

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす



少年・少女の夢再び

Rotary : Making a Difference

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018

富津中央 RC 会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2509 第18回例会 2017. 11. 16 晴

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：栗原典子 SAA

ソング：それでこそロータリー

会長挨拶

石渡 鋼 会長



皆さん今日は、本日も多くの皆さんのご出席有難う御座います。先週は私事で休みを頂き、申し訳ありませんでした。渡辺副会長には代行をお願いし、ありがとうございました。

さて今日皆さんにお配りいたしました煎餅、文字どおりお口汚しの一口しかありませんが、これは初代笠原文雄会長からの贈り物です。と申しますのも先月ご報告いたしました千葉市で行われた地区の財団・米山セミナーの際、各テーブルでクラブの特徴を話す中で、私が「うちのクラブは初代会長の名言を代々受け継いで旨くやっている。例えば・・・」と話したところ、偶々隣り合った銚子東 RC の藤崎一成会員が興味を持たれたようで、もし記したものが

あれば是非にとのことでした。

そこで先に志波会員が 2500 回記念で話された「笠原語録」の会報をお送りしたところ、感動した旨の一文と共に御礼として下さった煎餅です。どうぞ初代会長の徳を味わいながら召し上がってください。

別件ですが我がクラブで 35 年前、榎本前会長が入会間もない青少年奉仕の委員長の時に始まった「富津市ロータリークラブ旗争奪少年野球大会」の共催依頼が同会長宮崎一行さんから届いています。播いた種は育てるということで、今年もシテイクラブと共催致したいと思っておりますので、ご賛同をお願いします。

日時 12 月 3 日(日) 9 時より開会式

場所 ふれあい球場(A 面)

(何人か同行願えばありがたい)

幹事報告

平野安照 幹事



1. 千葉北 RC より創立 20 周年記念式典・祝賀会の

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



案内受領(回覧)

- ・日 時:平成30年1月24日(水)
登録受付17:00、開会点鐘17:30、祝賀会18:45～
 - ・会 場:ホテルポートプラザちば
 - ・登録料:一人10,000円
2. 第3回第4分区親睦麻雀大会の案内受領(回覧)
- ・日 時:11月18日(土)開始9:00、終了15:00
 - ・場 所:麻雀ポンチー(木更津市桜井704-106)
 - ・会費 :5,000円
 - ・参加者:千葉会員、榎本会員、伊藤会員、高橋会員、高島会員
3. 袖ヶ浦 RC より例会変更のお知らせ受領
移動例会
- ・日時:12月18日(月)点鐘18時
 - ・場所:木更津ビューホテル
 - ・理由:家族親睦忘年会のため
休会
 - ・12月25日(月)定款第8条第1節 C 項による
4. 上総 RC より週報受領(回覧)

研修会

基調講演

志波 克



財政債務について

研修計画で私に課せられた演題は「貨幣経済の仕組み」ですが、千葉研修リーダーの意向で国の累積債務に関係した意見交換にしばらく、会を進めたいと思います。

話の種にと、「藤井聡著 プライマリー・バランス 亡国論」を急いで読みました。飛ばし読みですので不正確な点もあると思いますが、大意は次のようです。

現在日本国は 1,000 兆円を超える債務を持ち、更に年々10 兆円以上の赤字が積み重なっているため、このままなら破綻する。と言う単純なイメージを多くの人を持っている。そして、この財政状況を改善するため政府はプライマリー・バランス(PB)の改善を考え、2,020 年までにPBを黒字化する政府決定をした。

【因みにプライマリー・バランスとは日本語では基礎的財政収支と言い、政府の歳入(主に税金)と、国債費を除いた歳出との差額(収支)のことです。これが赤字だと債務が増加します。】

PBを黒字化するには、歳入、つまり税金を増やし、支出を削減すれば良いが、このようにすれば確実に景気が悪化する。景気が悪くなれば、税収が減り折角増税で増やした歳入も逆に減少し、PBが赤字化するという結果が生じる事は歴史的に明らかである。

現在、財政健全化の国際標準的な基準は「債務対GDP比」で、この値を減らす努力をするのが正しい政策の方向である。

簡単に言うと、国債を増発し政府支出を増大させれば景気が良くなり、従ってGDPが拡大し、税収も増えるのでPBも改善し、確実に財政が健全化に向かう。

この財政再建をもたらす好景気循環を起こすきっかけとなるPB赤字拡大が出来る様に、先の2,020 年までにPBを黒字化するという政府決定を撤回することが最重要である。

ざっと以上のようなことであります。蛇足ながら、財政出動に失敗して債務が極端に増大してしまった時には、これは別の経済学者の論ですが、日銀が国債をどんどん買い取りインフレを起こして始末する事になるだろう、とのこと。この場合は、定期預金等に負担がかかり、不動産などは被害が少ないことも蛇足の上積みです。

これらに関連した事柄について、既定の 4 名の方、鈴木(勉)、山下、白石(廣)、岡田の各会員、を初めとして多くの会員の方にご発言を頂きたいと思っています。

山下 厚



わが国の財政赤字、大丈夫？

天文学から経済学に及ぶまで博覧強記の志波会員。その志波講師に指名されて「我が国の財政赤字問題について述べよ」というテーマを与えられた。

さて、どうしたものか？大相撲とウシの臨床については少々知識があると自負してるものの、経済学に関しては系統だって勉強したことはないし、謙遜ではなしに中学生のレベル。しかし、俄か勉強をして得た結論は……。

わが国の財政赤字は今や1080兆4405億円（平成29年9月末時点で）。これは国民一人当たり（赤ちゃんから100歳を超えた高齢者6万数千人を含めて全ての国民に背負わせて）800万円ほど。ここで色々と調べてみると、「今後我が国の財政は破綻してしまうのか」という問いかけに専門家の「処方箋」が真っ二つに分かれていることを知った。

「破綻する心配は無用」と答える方々の理論を支えているのは、財政破綻したギリシャ、アイルランドなどは対外債務が多かったが、債務の殆ど（973兆円）を占める国債をわが国の場合は民間銀行等（45.1%）、中央銀行（41.3%）、社会保障基金（4.9%）等（2017年時点）と国内で95%を買い支えているから大丈夫。例えば家族内での借金。長男と奥さん、爺さんと婆さんの4人家族を想定すれば、爺さんが長男に多額の借金をしているようなもの。爺さんの借金は長男の財産ということも出来る。いざとなったら日本銀行券（お札）をどんどん刷ってインフレを起こせばいい。（10%のインフレで借金は10%目減りする、50%では借金は半分が目減りする！）また本当に増税を思えば、国民の金融資産1400兆円に高い税金を掛ける、

あるいは相続税をとんでもなく高くする等、国の財政破綻を防ぐ（回避する）方法（切り札）はいくつかある、ということのようだ。

片や我が国の財政は最早破綻を免れない、という考えをお持ちの方は、視点を国民の生活に置いているような気がする。国の財政は破綻しなくても、破綻を免れる方法は何れにしても国民の生活を犠牲にして初めて成り立つ、ということのようだ。

確か小学校6年生の夏休みの事だったが、家の大掃除でダンスを片付けていたら引き出しから賞状のような立派な紙の束がたくさん出て来たことがあった。祖母に尋ねると「戦時国債」の債券ということであった。祖父がなけなしの金をはたいて、国を思う気持ちから無理して買った戦時国債は戦後紙屑同然になってしまったということだった。しかし戦後20年経っても捨てるに忍びなかったのだろう。今思い出しても30年程前に亡くなった祖父の無念さが伝わって来るような気がする。

常識的に考えて、既に年収の20倍ほどの借金を背負いながら返済の目途が立たないまま、収入の2倍ほどをつぎ込む生活がいつまでも続くはずがない。普通の国民であればとっくに自己破産していることだろう。

30年ほど前「（借りている）金なら返せん」とうそぶく有名なホテル経営者が話題になったことがあった。「借りた金はきちんと返す」という、この最低限の社会規範（モラル）が緩むことがあれば、例え我が国が禁じ手を使うことによってデフォルト（債務不履行）に陥ることはないとしても国民にモラルハザードが蔓延するのでは、と心配してしまう。杞憂に過ぎればいいが。



木瓜

鈴木 勉



金融機関に勤めていますが、財政とは無縁で全く知識がなく、プライマリー・バランスという言葉も聞いた事はありませんが説明できる知識はありませんでした。今回、指名を受け、一夜づけでネット検索し、調べた事をお話します。

プライマリー・バランスとは簡単に言うと、国の収支バランスです。入ってくるお金と出ていくお金のバランスの事です。国の収入というのは言うまでもなく「税込」です。国の支出は公共事業や防衛費、教育費等いろいろありますが、一番多いのは年金や医療費などの社会保障費です。日本はこの支出が収入より多くプライマリー・バランスは赤字です。この足りない部分の収入については、国債を発行する事で、つまり借金をする事で賄っています。この借金が毎年積み重なって、1000兆円を超えてもならない額になっていて、さらに増え続けている事が問題とされているわけです。

収支のバランスを保つには「収入を増やす」か「支出を減らす」かに二択しかないわけで、「収入を増やす」ために増税をすれば逆に景気にブレーキがかかり税収が落ち込む事になりかねないというのは先ほどの志波さんが説明したとおりです。

そうすると「支出を減らす」しかないのですが、正直どこを減らせばよいか明確な答えがありません。少子高齢化が進む日本社会では税収は増えず、年金や医療費、介護費は増大する構造ですから、社会保障費を減らす事は無理でしょう。

こんな状態が続いていけば、国際的な信用力は低下していく事は間違いありませんが、志波さんの説明のとおりプライマリー・バランスが赤字だとか、負債がこれ以上増えるのはよくないという考えにこ

だわらない方がいいと思います。この問題を次世代に引き延ばすようで、無責任かもしれません。日本の負債は日本銀行に支えられていて、日本銀行は国の機関ですから現在の状況は「子供が親に借金をしているようなもの」と考えると、個人的には、親への借金なんてあってもないようなものと割り切って、必要な社会保障は充実させてもらいたいものです。

岡田良弘



今日は、貨幣経済のしくみについて志波さんより話を伺ったのですが 私には難しくてよくわかりませんでした。私なりに考えてみました。

プライマリー・バランスとは簡単に言えば、入ってくるお金と出ていくお金の 収支バランスの事はわかりました。

税収が増えることはあまり期待できないし、むしろ支出の方がどんどん増えていくと思います。その原因は社会保障費の増大、少子高齢化社会ということで、お年寄りの方は長生きして頂きたいと思いますが、それを支えるこれからの方は大変だと思います。支出を減らすにはどうしたらよいか具体的に考えていかなければいけません。

たとえば公共事業など他の事業もそうですが優先順位をきめた仕訳作業を徹底的に行って無駄をなくしていかなければ景気はよくなりません。

平成14年に消費税を5%から8%に引き上げた時は個人消費が大幅に減ってGDPが下落しました。税収が上がらなければどうしても消費税を増税せざるをえませんが、景気が低迷して税収が落ち込む可能性さえあります。

日本は日銀が国債を買い取ってくれているから破産はしないと言っていますが、この状態がいつま

でも続いていけば国際的な信用力が低下していくことは避けられないうえに債務残高が増える一方で希望が見えません。

今後必ず解決していかなければならないと思いますし、安倍総理には具体策を見つけて頂いて、プライマリー・バランスを黒字化に進めて頂きたいと思えます。

千葉一利 研修リーダー



研修計画に基づき今日は、志波会員の経済に関する研修会です。

基調講演として、プライマリー・バランスと国の金融を中心とした話は、大変わかりやすく素晴らしい解説でした。また、山下会員、鈴木勉会員、岡田会員の発表はそれぞれの立場、職業上から見た経済についての話でこれまた素晴らしい発表でした。

この研修は5班の内3つの班が終わりました。終わった3つはそれぞれ素晴らしい研修会でした。あと2つ、榎本班と三枝班です。この研修会を楽しみにしてください。

委員会報告

ゴルフ部長 渡辺 哲夫



「第4回 富津中央RC杯争奪 親睦ゴルフコンペ」

の開催について、新入会員歓迎ゴルフコンペを兼ねまして、下記のとおり開催いたしますのでより多くの会員の参加をお待ちしております

記

日時:平成29年12月24日(日) 午前9時までに集合

場所:鹿野山ゴルフ倶楽部 天神コース

費用:プレー費 約13千円 (食事付き)(各自精算)

参加費:3,000円(賞品代+パーティー費代)

競技方法:新ペリア方式

競技方法:後日発表

出席報告

平川恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/28	20	8		71.43%
前回	32/29	22	7		75.86%
前々回	32/32	23	9		71.88%

ニコニコBOX

山下 厚 親睦担当部長

石渡 鋼 先週は渡辺副会長に代行をお願いし、有難うございました。

小野恒靖 12月3日の南総文化ホール第九のソロは錦織健さんでした。小野忠雄さんは合唱指導でした。

石井智信 牧場のPRをさせて頂いて。 ”

志波 克 講師をさせて頂いて。

榎本守男 大佐和タクシーがやっと営業開始。



今日のランチ 天ぷら御膳

石井智信



こんにちは。本日はマザー牧場の近況を皆様にPRさせていただきます。

マザー牧場は、お陰様で今年55周年を迎えることができました。

50周年の時は震災があったこと、55年は「Go Go!」と語呂があうことから、今年は55周年の年として力をいれています。具体的な形としては、次の3つを実施しています。

- ①空調設備の整った、新しいレストランの建設。
- ②「ジップライン」という新しい遊技施設の開設。
- ③イルミネーション実施エリアの変更(まきばエリアから山の上エリアへ)

イルミネーションは10月21日からスタートしております。

あわせて、55周年を迎えて地元の方々に感謝の気持ちを表すため、10月21日から2週間にわたり、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市、市原市在住の方々に午後から無料で入場していただく感謝ウィークを実施しました。

しかしながら台風が2週続けて上陸してしまい来場いただけなかった方が多くいらっしゃいましたので、富津市、君津市、木更津市在住の方について12月21日～12月31日まで再度無料入場の感謝ウィークを開催いたします。

午後から入場無料で、16時から駐車場も無料となりますので、是非お気軽にイルミネーションなどをご覧になりに来てください(免許証など在住していることがわかるものをお持ちください)。よろしくお願いいたします。



皆さん、こんにちは。今日は大佐和タクシー開業のお知らせをさせていただきます。

大貫にタクシーがなくなってから約1年半になります。地元の皆さんの「安心であたりまえの暮らしができない!」「運転に自信がなくても免許証の返納ができない」「何とかならないか?」の声に押されて、大佐和自動車教習所を母体として新会社を設立しました。その後事業認可の申請をしてから約7か月になります。8月21日付けで一般乗用旅客事業の認可証をいただきました。営業区域は南房交通圏です。営業開始は11月13日でした。登録車両5台です。まだドライバーを募集しております。情報がありませんでしたらよろしくお願ひします。十分なマナー教育・安全教育をして乗務させたいと思っています。よろしくお願ひします。



編集後記

今週号は、マクロの視点で日本経済を理解する為の基調講演、そして職業の異なる会員3名にミクロ経済と私たちの暮らしについての意見を披歴して頂き掲載しました。久々に6ページの会報となりました。富津中央ロータリークラブの充実した例会の雰囲気と発言を漏らすことなく感じとって頂ければ幸いです。

M・E